

わが青春の「同棲時代」

上村一夫×美女解体新書展

KAMIMURA
KAZUO



愛はいつも

いくつかの過ちに

満たされている……

「同棲時代」第6集 (双葉社 表紙原画/昭和48年12月)

2016年1月3日(日) ▶▶ 3月27日(日)

月曜休館 ただし1月11日・3月21日(月祝)開館、1月12日・3月22日(火)休館

◆ トークショー ◆ 事前申込制。有料。詳細は美術館HPにて。

3/5 Sat 17:30 ▶▶ 糸井重里 (毎日刊イイト新聞主宰) × 上村 汀 (上村一夫長女)

3/12 Sat 17:30 ▶▶ 深田 太郎 (阿久悠長男) × 上村 汀 (上村一夫長女)

3/20 Sun 17:30 ▶▶ 岡崎 英生 (元劇団原作者) × 筑 悟 (編集プロデューサー)
× 森田 敏也 (劇団研究家) × 上村 汀 (上村一夫長女)

◆ 音楽イベント ◆ 3/19 Sat 18:00 ▶▶ 曾我部 恵一 ミニライブ

◆ ギャラリートーク ◆ 申込不要。無料 (要入館料)

命日 1/11 Mon 祝日 14:00 ▶▶ 2/14 Sun 14:00 ▶▶ ゲスト 上村 汀 (上村一夫長女)

1970年代初頭、大ヒット漫画「同棲時代」によって一大センセーションを巻き起こし、時代の寵児となった漫画家・上村一夫 (1940~1986)。背筋が凍るほど美しい彼女たちの強い眼差し。それは、上村自身の眼でもある。人間の本性を容赦なくえぐり出し、今なお私たちを見つめ、問い続ける。
哀しい女の業、
渦巻く情念の炎、
静かな狂気に潜む、
底知れぬ心の闇……！
あなたは、その強烈な視線に耐えることが、できるだろうか……？
月産400枚以上という驚異的なスピードで数々の傑作を世に送り出し、45歳で急逝してから30年。甘美なる抒情、あふれ出す诗情、背徳のエロス……
徹底した上村美学を、約500点によって展覧する。

◆ 特別協力 上村一夫オフィス ◆ 展覧会に併せて国書刊行会より画集刊行！



東京メトロ千代田線(根津駅)or 南北線(東大前駅)共に徒歩7分

JR上野駅公園口・しのばず口より徒歩20分(東京大学 弥生門斜め前)

※駐車場はございませんので、お車でお越しはご遠慮ください。

弥生美術館

Yayoi Museum

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-3

TEL.03(3812)0012

http://www.yayoi-yumeji-museum.jp

開館時間

午前10時～午後5時(最終入館4時半まで)

入館料

一般 900円/大・高生 800円/中・小生 400円

※ 竹久夢二美術館と二館併せてご覧いただけます。
※ 高品質の常設ルームもご覧いただけます。